

2	筆子連名簿	明治10 (1877)年	齋藤羊太郎家文書	P9404	No. 3
---	-------	-----------------	----------	-------	-------

これは、齋藤家（現・前橋市池端町）が代々開いていた寺子屋（手習い道場）に通っていた筆子の名簿です。筆子は寺子ともいい、今でいえば学校の生徒や塾の生徒のことです。子どもたちは寺子屋で読み書き・算盤のほか、場合によっては儒学なども学びました。寺子屋は多くの村にあり、当時の高い識字率の元となっていました。

この名簿には画像（下部）のように、「入学」の年月日が書かれている箇所もあります。

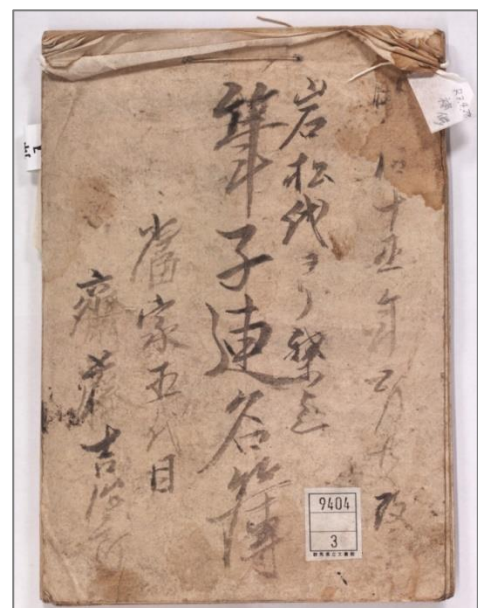
また、画像（下部）は天保13（1842）年～15年の部分ですが、この名簿が明治期に作成されたためか、全員に苗字が書かれています。

少数ではありますが、貞（さだ）、鶴（つる）、うら、などの女子が学んでいたこともわかります。彼女らは、隣の久保村（現・北群馬郡吉岡町）から通っていました。

残念ながら、その後の文久2（1862）年に亡くなった筆子もいました（○印が付いている2名）。

この名簿が明治10（1877）年に作成された理由は書かれていませんが、作成者の齋藤吉次郎については、明治13年に群馬県から出された学務委員當撰の辞令が伝わっています（No. 79）。青梨子小学校に関するものと思われます。齋藤家が明治期以降も子どもの教育に携わっていた様子がうかがえます。

<p>（表紙）</p> <p>明治十五年五月廿日改</p> <p>岩松代ヨリ我等迄</p> <p>筆子連名簿</p> <p>当家五代目</p> <p>齋藤吉次郎</p>
--



三原十三年三月廿五日
 蜂巣 和市
 日持 勝太郎
 大久保村
 片貝 貞女
 中嶋 鶴女
 関口 茂市
 関口 茂市
 木暮 民之助
 関口 光八
 大久保村
 蜂巣 善三
 大久保村
 片貝 うら
 角田 半三郎
 木暮 要次郎
 石関 定五郎
 高瀬 理助
 文久二戌閏八月十二死
 蜂巣 新之助

(部分)

天保十三寅正月五日

蜂巣 和市

入学

同

同 勝太郎

同

大久保村

同

片貝 貞女

同

同

同

中嶋 鶴女

同

関口 茂市

同十四卯三月四日入学

木暮 民之助

同

同

関口 光八

同十一月十五日入学

蜂巣 善三

同

大久保村

同

片貝 うら

同十五辰十一月九日入学

角田 半三郎

同

木暮 要次郎

文久二戌閏八月廿五日死

同

○石関 定五郎

同

高瀬 理助

文久二戌閏八月十二死

同

○蜂巣 新之助